



三月三十一日付 ○J F E千葉作業所 (袖ヶ浦バイオマス発電株式会社) 佐藤 昌典 ○火力部 工事課 主任 (袖ヶ浦バイオマス発電株式会社) 吉田 卓	
中途入社	
八月十七日付 ○品質保証部 八月一日付 ○原子力部 工事課 ○原子力部 工事課 十月一日付 ○鹿島事業所 ○高浜作業所 ○高浜作業所	八島 卓也 米光 菜摘 竹中 龍之介 千葉 朋也 木原 健志 池町 竜太
退職	
八月三十一日付 ○自己都合 (第二営業部 第一営業課 主任) 渡 ○自己都合 (資材部 機材センター)	将太 森山 伸幸
親交会	
☆出産おめでとunggざいます 上光 伸吾 (美浜作業所) 長男 律希くん 6 / 16 田中 岳樹 (第一営業部営業課) 長男 結晴くん 8 / 3	
●謹んでお悔やみ申し上げます 大角 憲史 (原子力部) ご岳父様 7 / 16 山下 良幸 (顧問) ご母堂様 7 / 30 江藤 正幸 (J F E千葉作業所) ご尊父様 7 / 31 鈴木 信宏 (法務部) ご母堂様 8 / 8	



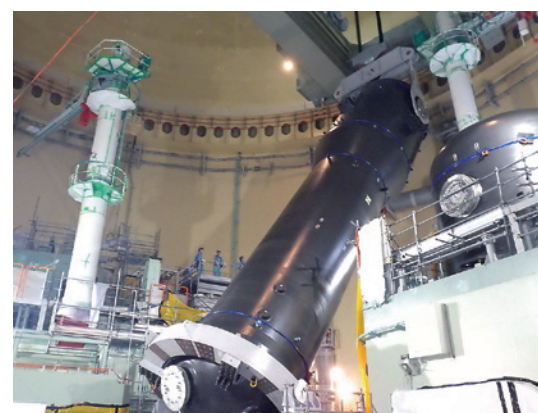
「日建だより」 2026年10月7日発行 通巻226号 発行／日本建設工業株式会社 人事・総務課 制作・印刷／株式会社SUGAWARA



3B-SG水切り集合写真

現在、高浜作業所では、3号機蒸気発生器取替工事（SGR本工事）を中心に、多くの工事に取り組んでいます。蒸気発生器は、1台当たり重量300トン以上、全長20メートル以上にも及ぶ巨大な熱交換器であり、今回の工事では、この蒸気発生器を3台取り替えます。蒸気発生器取替工事は、原子力発電所における大型改造工事の一つであり、当社としては通算10回目となる大規模工事です。今回の工事は、安全対策工事以降では初めてのSGR本工事となることか

ら、これまでとは異なる作業環境やルールの中で、多くの関係者が工事に携わっています。3号機SGR工事では、蒸気発生器の取替えに伴うさまざまな工事が行われており、作業量・作業員数ともに大幅に増加する中、現在まさに工事の最盛期を迎えています。本工事には、原子力部だけでなく、計画技術部、配管技術部、火力部、溶接技術部など、各部門から多くの応援社員が加わり、日建全社を挙げて工事に取り組んでいます。多くの社員・協力会社が一つの目標に向かって力を合わせ、大規模な工事を支えています。一方、大型改造工事であることから、作業環境の変化やルールの変更、経験者不足など、さまざまな課題もあります。そのため、これまでに培われた技術と経験を確実に継承するとともに、関係者間のコミュニケーションを密にし、安全・品質・工程を最優先に、一つひとつの作業を確実に進めています。高浜作業所では、3号機SGR工事を安全かつ確実に完遂することを最優先に、所員一丸となつて工事を進めています。また、今回の工事で得られた経験やノウハウを次の工事へ確実につなげ、今後予定される



新SG立起し



新SG吊り上げ(屋外)

高浜作業所 工事紹介

報告者

所長 松田 弘一

現場で働く皆さんの健康を支えています。これからも高浜作業所は、発電所で働くすべての皆さんと力を合わせ、「安全第一」を基本に、技術と経験を次の世代へ継承しながら、高浜発電所の安全安定運転に貢献していきます。

第36回 日建安全品質協力会総会 開催

7月24日（金）、第36回日建安全品質協力会総会が本社4階会議室において、日建社員・関係協力会社89名が出席、開催されました。また総会前に、住吉神社にて安全祈願を行いました。



総会では、社長挨拶、安全表彰に続き各部工事概要、安全管理状況、品質管理状況が報告され、貴重な情報交換の場となりました。



2025年度 安全表彰

総会の席上、2025年度の安全表彰が行われ、対象の協力会社、個人に表彰状と金一封が授与されました。

【現地事業所年度無災害表彰】

・鹿島北共作業所 ・大飯作業所 ・水島作業所

【協力会社安全表彰】

・株式会社誉工業(千葉・袖ヶ浦作業所) ・株式会社ショウグローバル(女川建設所)

【個人安全表彰】

・株式会社 ツトムTTM 石上 和磨(女川建設所) ・有限会社 三光電建 丹波 誠(六ヶ所作業所)
・有限会社 三光電建 能登 卓也(六ヶ所作業所) ・株式会社 中工業(有限会社 北動工業) 杉山 優(六ヶ所作業所)
・有限会社 三野機工 友部 洋介(常磐作業所)



ワンストップ安全確認

～一旦立ち止まり、確認してから次の行動へ～



安全管理部では「ワンストップ安全確認」を推進しています。「ワンストップ安全確認」とは次の作業に移る前に一旦立ち止まり、「危険はないか?」「このまま進めて本当に安全か?」を確認・考えてから行動することです。

思い込みや慣れによる災害を防ぎ、一人ひとりが安全の主役となるための大切な取り組みです。

基本の3ステップ

① 止まる!



作業の節目や次の作業に移る前に、必ず立ち止まる。

② 確認・考える!

- ☒ 手順は正しいか?
- ☒ 危険はないか?
- ☒ 周囲の状況は変化していないか?
- ☒ 自分と周囲の安全は確保されているか?

目で見て、耳で聞いて、手で触れて確認し、頭で考える

③ 安全を確信して行動する!

ヨシ!

「ヨシ!」と声に出し、指差呼称などしてから行動する。

これを繰り返し安全な作業を**習慣**にしましょう

確認のポイント(例)

- 作業手順・作業計画は正しいか
- 作業環境に変化はないか
(足元、照明、通路、天候など)
- 自分の役割と周囲の作業・動きは把握できているか
- 不安全な状態・行動はないか
- 保護具・安全装置は正しく使用されているか
- 少しでも危険や違和感があれば、作業を止めて相談する

これらを排除して確認しよう!

思い込み

慣れ

急ぎ・焦り

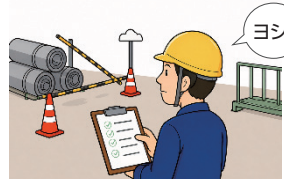


一度立ち止まることで、重大災害を防げます。

ワンストップ安全確認の活用場面(例)

作業開始前

作業前に立ち止まり、危険がないことを確認してから作業を開始する。



次の作業への移行時

作業が一段落した後、別の作業に移る前に、状況の変化や作業内容に問題はないか確認する。



異常・変化に気づいた時

設備・環境・体調などに変化があったときは、必ず立ち止まり原因と対策を確認する。

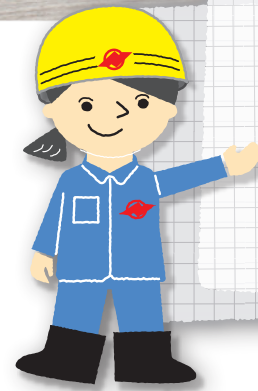


安全は、みんなで創るもの

一人ひとりの「ワンストップ安全確認」が、職場の危険感受性を高めます!

一旦立ち止まる・よく見る・しっかり考える・安全に行動する

安全最優先と危険感受性の向上で、ゼロ災職場を実現しましょう。 ご安全に!



ISO NEWS LETTER

Vol.20



【品質は誰が守る? 全員参加の品質文化を作ろう!】

「品質管理は品証部門の仕事」——そう思っていないですか? プラントの品質は、設計の一線、現場の一手、営業の一言、全てが積み重なって初めて守られます。あなたの仕事も、確実に品質を支えています。

◎部門別 品質への関わり方

営業部門	→顧客要求を正確に社内へ伝える
設計・開発	→品質基準・仕様を設計に落とし込む
現場	→手順通りの作業・異常の早期発見
品質管理部門	→検査・データ分析・是正処置の管理
購買・調達	→品質基準を満たす部品・材料の調達
総務・管理	→作業環境の整備・教育訓練の手配
経営層	→品質方針の策定・資源の投入判断



各々の仕事を
全うすることで
品質を守りましょう!

◎あなたは何問正解できる? 品質クイズ 3問!

Q1. プラントの品質不具合は、どの段階で発見されると修正コストが最も低くなる?

- A) 設計段階 B) 建設段階 C) 試運転段階

Q2. ISO の「不適合」とは何を指す?

- A) 機械の故障 B) 要求事項を満たさないこと C) 作業員のミス

Q3. 品質記録は何のために残す?

- A) 監査に備えるため B) 責任追及のため C) 次のプロジェクトの改善に活かすため

◎品質の世界の名言に学ぶ

「品質はコストをかけて検査で作るものではなく、プロセスに作り込むものである」

——ウィリアム・エドワーズ・デミング

…プラントに置き換えると

完成後の検査だけで品質を担保しようとするれば、手戻り・やり直しのコストは膨大になります。

設計レビュー・調達検査・施工確認等、各プロセスで品質を「作り込む」ことが最終的なコスト削減と安全確保に繋がります。



※画像はウィキペディアより引用

来月は品質月間ということで、品質に関わるテーマをお届けしました!
今年度の品質月間テーマは「今こそみんなで共創しよう! 未来を拓く品質の力」です。発表会の参加・視聴も是非お願いします!



TO BE CONTINUED...

若狭研修センター地鎮祭

2026年6月15日(月)、大和リース株式会社をはじめとする関係者ご参列のもと、若狭研修センター建設予定地(若狭事業所敷地内)にて、地鎮祭を執り行いました。

当日は天候にも恵まれ、地元の金山彦神社より神主をお迎えし、厳かな雰囲気の中で式典が進みました。敷地を清める「お祓い」にはじまり、工事の無事を祈る「祝詞(のりと)奏上」、原子力部・大角部長による「鍬入れの儀」が執り行われ、参列者一同、工事の順調な進捗と完成後の建物の末永い繁栄を心よりお祈りいたしました。

6月末よりいよいよ本格的な工事がスタートいたします。安全第一で着実に作業を進めてまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



リクルート通信

Vol.33

今年の新卒採用は厳しい状況に…

現在の内定承諾者は7名と、今年も厳しい状況です。昨年の同時期と比べると、説明会参加者数・選考受験者数ともに増加しているのですが、内定後や選考途中での辞退が多くなっており、目標人数を達成するには厳しい状況です。まだまだ諦めず、1名でも内定承諾者が増えるように引き続き説明会や学生のフォローを行ってまいります。



高卒採用スタート!

今年は、樟南高校、隼人工業高校、六ヶ所高校の3校から応募前職場見学の依頼があり、千葉事業所、千葉・袖ヶ浦作業所、東北事業所にて現場見学を実施しました。

実際に見てもらうことで、会社の雰囲気や仕事内容を知り、入社後の働く姿をイメージしてもらう機会になったのではないかと思います。

ご協力いただいた現場の皆さま、お忙しい中ご対応いただきありがとうございました!

インターンシップ実施いたしました!

彩星工科高校とむつ工業高校から依頼があり、インターンシップを実施いたしました!

彩星工科高校は配管技術部、むつ工業高校は東北事業所にて、実際の業務を体験してもらい、当社のことや仕事内容を知ってもらう良いきっかけとなりました。受入れにご協力いただいた関係者の皆さま、お忙しい中ご対応ありがとうございました。

今後も、現場見学などご協力をお願いすることがあるかと思っておりますので、その際はどうぞよろしくお願いいたします。

